

沖縄県 公立高校の入試制度

【2026年度版】

選抜概要

- 沖縄県の公立高校入試は、同一日程で特色選抜と一般選抜を行います。特色選抜は各高校が定める出願要件を満たせば出願が可能です。

	出願期間	志望変更期間	入試日	発表日
特色選抜 ・ 一般選抜	2/2(月)・2/3(火)	[変更申出] 2/6(金)・9(月) [取り下げ・再出願] 2/16(月)・17(火) ※特色選抜は志願変更不可	3/4(水)・5(木) (学力検査以外は 学校指定日)	3/17(火)

- 出願…原則1校1課程1学科（コース）に限ります。ただし、一般選抜において、同一校における他の課程、他の学科に第2志望（コースの場合は第2希望）を出願することができます。
一般選抜のみに出願することはできますが、特色選抜に出願する場合、一般選抜にも出願が必須となります。特色選抜と一般選抜で別の学校に出願することもできます。
学力検査は一般選抜で出願した学校で受検します。

- 選抜…まず特色選抜志願者を先に選抜します。特色選抜で不合格となった者は一般選抜で選抜します。
- 普通科の通学区域は、原則として国頭、中頭、那覇、島尻、久米島、宮古、八重山の7つに分かれていますが、学区外からの出願も可能です。学区外からの募集人員は上限が入学定員の10%以内と定められています。

- 特色選抜 各学校の「求める生徒像」「選抜において重視する観点」を理解し、出願要件を満たす者が対象。特色選抜は全ての学科において行われ、特色選抜で不合格となった者は、一般で選抜を行う。

《募集人員》原則として以下の範囲で各学校により決定

- ・普通科…募集定員の20%以内
- ・普通科以外の学科…募集定員の40%以内

《選抜資料》

- ・学力検査…国語・数学・理科・社会・英語（各50分・各60点）
ただし、学力検査のうち思考力を問う記述式問題以外の得点（各教科50点）を成績として取り扱うものとする。
- ・学校独自検査、面接、実技検査等

●一般選抜 《選抜資料》

- ・学力検査…国語・数学・理科・社会・英語（各50分・各60点）
※学校・学科（コース）等の特色に応じて教科ごとの配点を変更することがある。
また、各学校において学力検査等を一部付加して実施することがある。
- ・面接、調査書

- 特色・一般ともに、上記の各資料等を用いて、選抜を行います。

なお、一般の場合、学力検査等の成績と調査書の比重は、原則として5対5となります。

ただし、高等学校長が特に必要と認める場合には、4対6から6対4の範囲内で比重を定めることができます。

※詳細は教育委員会の資料をご確認ください。